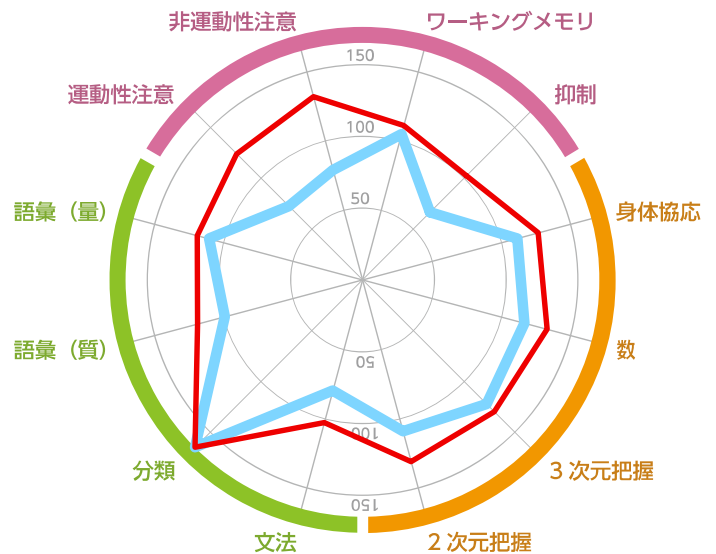


さっちゃんさん (9才)

指数の変化

		2016/4/4	2016/7/4
前頭前野	抑制	66.50	↑ 102.48
	ワーキングメモリ	105.02	→ 111.27
	非運動性注意	79.33	↑ 132.11
	運動性注意	72.66	↑ 124.13
左脳	語彙 (量)	110.81	→ 119.18
	語彙 (質)	99.20	→ 119.02
	分類	179.44	→ 206.95
	文法	80.03	→ 103.11
右脳	2次元把握	109.19	→ 131.26
	3次元把握	122.53	→ 130.19
	数	116.82	→ 133.25
	身体協応	111.77	→ 126.82



前頭前野	抑制	他のことをしながら、してはならない事象が出た時に抑止する力。
	ワーキングメモリ	作業記憶。課題を達成する際に必要な情報を保持し、活用しながら遂行できる能力。
	非運動性注意	目で見た情報に注意しながら、一定の手順に従って作業をする能力。
	運動性注意	動的な情報を瞬間的に判断し、手指を動かす能力。

左脳	語彙 (量)	ある文字で始まる語彙を見つける。語彙量。
	語彙 (質)	複数の属性をもつ語彙を見つける。語彙の多面性認識。
	分類	ある語彙がどのような分類の範疇に含まれるかの知識。
	文法	複文など、複雑な構造の文の理解度。

右脳	2次元把握	2次元の形状を把握する能力。
	3次元把握	3次元の形状を把握する能力。視点の移動ができることが必要。
	数	重なったブロックの数を答える。数的物理的な常識力。
	身体協応	目で見た情報を使いながら、手指を動かす能力。

注意・遂行機能 (前頭前野)

- ・抑制 : 66.5→102.5 (大きく改善)
- ・非運動性注意 : 79.3→132.1 (大きく改善)
- ・運動性注意 : 72.7→124.1 (大きく改善)

運動性注意、抑制力が大きく改善されました。友達と握手をして、じゃんけんをして勝ったら相手の甲をたたき、負けたら手の平を間に入れて防御するゲームを楽しく、集中して取り組めたのが大きな成果を生んだようです。

非運動性注意も改善しました。2つの絵を見て、間違い探しをする活動が役立ったようです。

言語領域 (左脳)

- ・語彙 (質) : 99.2→119.0 (改善)
- ・分類 : 179.4→206.9 (改善)
- ・文法 : 80.0→103.1 (改善)

文法と語彙の質が改善しました。物語の楽しさを感じて、進んで本を読もうとする姿勢が役立っているようです。ご家庭でもいっしょに図書館に出かけるなどして、読書に対する興味関心をさらに広げていただければと思います。

言葉の分類も改善しました。施設の、様々な図鑑に興味をもったことが伸びを引き出したように思います。

空間認識・運動領域 (右脳)

- ・数 : 116.8→133.2 (改善)
- ・2次元把握 : 109.2→131.3 (改善)
- ・身体協応 : 111.8→126.8 (改善)

数の理解が改善しました。ブロックで形を作って、友達とあてっこをする遊びが役立っているようです。

2次元把握が改善しました。ジグソーパズルを好きになったのが有効と思われます。

身体協応も改善しました。じゃんけんゲームがこの認知機能の改善にも役立っていると思います。